

前橋をデザインする 未来のまちづくりシンポジウム

～民間主導のまちづくり 次のステージへ～

2026年



2月20日(金)



17:00-19:00

受付 16:30～



前橋デザインコミッション
027-289-3773



【無料】200名



お申し込みは
こちらから

前橋のまちづくりの今後を知り、これからをどう描くかを考える2時間！

【第1部】前橋の今後を知る

1. 「前橋クリエイティブシティ構想」について



株式会社マウントフジ
アーキテツスタジオ
一級建築士事務所 原田 麻魚



WRT, LLC プリンシパル
ランドスケープアーキテクト
鶴田 景子

2. 「中心市街地コアエアリಾಮスタープラン」について



株式会社ランドスケープ・プラス
代表取締役 平賀 達也



LIGHTDESIGN INC.
代表 / 照明デザイナー
東海林 弘靖

3. 「前橋ENGAWAプラットフォーム (MAEP)」について



JTQ株式会社
代表 谷川 じゅんじ

【第2部】パネルディスカッション

テーマ：民間主導のまちづくりを、どう次のステージへ進めていくか

パネリスト

WRT, LLC プリンシパル
鶴田 景子

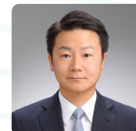
株式会社ランドスケープ・プラス
代表取締役 平賀 達也

JTQ株式会社
代表 谷川 じゅんじ

一般社団法人 太陽の会
会長 田中 仁



一般社団法人 前橋デザインコミッション
代表理事 宇留賀 敬一



主催：(一社) 太陽の会・(一社) 前橋デザインコミッション

後援：群馬県・前橋市・前橋商工会議所

ゲストスピーカー／パネラー



【第1部】

株式会社マウントフジアーキテツスタジオ一級建築士事務所

原田 麻魚

2004年 原田真宏と共にMOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO設立。建築デザインを中心としながら、都市計画から伝統技術を生かしたプロダクトデザインまでスケール横断的なデザイン活動を繰り返している。その豊かなビジョンと共に建築的「質」の高さに定評があり、ほぼ全ての作品が国内外の賞を受賞するなど、世界的な高い評価を受けている。



【第1部／第2部】

WRT, LLC プリンシパル ランドスケープアーキテクト 鶴田 景子

鶴田 景子

現在、アメリカの総合デザイン事務所WRTのプリンシパルとして、国内外で都市デザインおよびランドスケープデザインに携わり、民間を巻き込んだ創造的なプロセスによる都市空間の変革に取り組んでいる。代表作に国内外の賞を受賞した「SteelStacks Arts & Cultural Campus」、「Georgetown Waterfront Park」や「小山ハーヴェストウォーク」などがある。



【第1部／第2部】

株式会社ランドスケープ・プラス 代表取締役

平賀 達也

1969年徳島県生まれ。ランドスケープ・プラス代表取締役、ランドスケープアーキテクト連盟会長。高校卒業後に渡米。ウェストヴァージニア大学ランドスケープアーキテクチャー学課卒業。2008年にランドスケープ・プラス設立。環境デザインのプロフェッショナル集団として自然とのつながりを感じられる空間づくりや仕組みづくりを実践している。



【第1部／第2部】

LIGHTDESIGN INC. 代表 / 照明デザイナー

東海林 弘靖

EXPO2025 会場照明デザインディレクター。建築デザインから照明デザインの道に入る。1990年より地球上の感動的な光を求め、アラスカ、サハラなど世界中を探索調査、取材を続けている。万博では「いのち輝く未来社会のための”新しい夜”」をテーマに、人間だけでなく多様な生物と共生する光環境を提案。Professional IALD



【第1部／第2部】

JTQ株式会社 代表

谷川 じゅんじ

2002年、空間クリエイティブカンパニーJTQを設立。“空間をメディアにしたメッセージの伝達”をテーマに、様々なイベント・商空間開発・地域活性化事業など、シナジスティックな多領域協創を実現。独自の空間開発メソッド「スペースコンボーズ」により、環境と状況を組み合わせたエクスペリエンスデザインによる「場の記憶」の創出を目指している。



【第2部】

一般社団法人 太陽の会会長

田中 仁

1988年ジェイアイエヌ（現ジンズホールディングス）設立。2014年田中仁財団を設立、起業家支援「群馬イノベーションアワード」「群馬イノベーションスクール」開始。2016年太陽の会会長就任（2024年一般社団法人化）。2020年廃旅館を再生し「白井屋ホテル」を開業。前橋のまちづくりに尽力している。



【第2部 ファシリテーター】

一般社団法人 前橋デザインコミッション代表理事

宇留賀 敬一

東京大学工学部卒、2003年に経済産業省に入省。2008年から厚生労働大臣の補佐官として年金記録問題に取り組む。2014年から内閣官房で地方創生を立ち上げ。2019年に全国最年少の副知事として38歳で群馬県副知事に就任。2025年6月から、民主導のまちづくりを担うMDCに代表理事として就任。2026年から岐阜県財政政策顧問も兼務。